



営農NEWS



イチゴのハダニ類、アザミウマ類、コナジラミ類、うどんこ病などの発生に十分注意しましょう

病害虫発生予報 1 月号（病害虫防除所）によると、12 月中旬現在、ハダニ類の寄生葉率（本年 24.5%、平年 11.9%）は平年よりやや高い～高く、発生地点率（本年 80%、平年 56%）はやや高い状況で、1 月の発生量は平年よりやや多い～多くなると予測しています。また、アザミウマ類は平年よりやや多い、コナジラミ類は平年並～やや多い、うどんこ病は平年並と、それぞれの発生量になると予測しています。

このため、各種病害虫の早期発見に留意し、事前の予防や発生初期の防除徹底に努めてください。

<ハダニ類、アザミウマ類、コナジラミ類、うどんこ病 防除のポイント>

- 1) 発生を見逃さないよう、葉裏や葉柄、果梗、果蕾などを丁寧に観察して早期発見に努めてください。
- 2) 発生を確認したら、早期に薬剤防除を実施します。葉裏や下葉にもよくかかるよう、株全体に丁寧に散布します。
- 3) 薬剤散布は、葉かきをした後、発病や寄生した葉、果梗、果実等を摘み取った後に行うと効果的です。
- 4) 薬剤耐性菌や抵抗性害虫の発生を抑制するため、気門封鎖剤を除く同一分類（コード）の連続散布は避けてください。
- 5) ミツバチや天敵を放飼の場合は、薬剤の影響等について、メーカーや関係機関等から必ず指導を受けてください。

表 1 イチゴ ハダニ類の主な防除薬剤 (令和 4 年 1 月 11 日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
コロマイト水和剤	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	1 日	6
カネマイトフロアブル	1,000~1,500 倍	収穫前日まで / 1 回	○	20B
スターマイトフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	1 日	25A
マイトコーネフロアブル	1,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	1 日	20D
サンヨール	500 倍	収穫前日まで / 6 回以内	○	—
粘着くん液剤（デンブン）	100 倍	収穫前日まで / —	1 日	—

注 1) 気門封鎖剤（粘着くん液剤など）利用の注意点：①薬剤によりマルチの汚れや果実薬害を生じることがあるため、各薬剤の特性をよく確認する。②ハダニ類に直接かかると効果がないため、株全体に丁寧に散布する。③ハダニ類成虫には有効だが、卵には十分な効果がないので、残った卵からふ化した成虫を防除するためには、5~7 日間隔で数回散布する。

注 2) 表 1、2、3 のミツバチ※は、ミツバチへの影響の目安を茨城県病害虫防除指針（令和 3 年版）より抜粋しました。

○は薬液が乾けば影響なし、その他は影響日数を記載しましたが、天候、施設内の環境条件（温度、換気等）により日数の前後することがあり、注意が必要です。なお、—は指針に記載なしです。

注 3) 表 1、2、3 の分類欄には、FRAC または IRAC コードを記載しました（コードが 2 つは、混合剤です）。

表 2 イチゴ アザミウマ類やコナジラミ類の主な防除薬剤 (令和 4 年 1 月 11 日現在)

薬剤名	アザミウマ類	コナジラミ類	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
グレーシア乳剤	○		2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	—	30
ベネビア OD	○	○	2,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	—	28
ディアナ SC	○		2,500~5,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	3 日	5
		○	2,500 倍			
モスピラン顆粒水溶剤	○	○	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	1 日	4A
モベントフロアブル	○	○	2,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	1 日	23

表 3 イチゴ うどんこ病の主な防除薬剤 (令和 4 年 1 月 11 日現在)

薬剤名	希釈倍率	使用時期 / 使用回数	ミツバチ※	分類
フルピカフロアブル	2,000~3,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	1 日	9
アフエットフロアブル	2,000 倍	収穫前日まで / 3 回以内	1 日	7
トリフミン水和剤	3,000~5,000 倍	収穫前日まで / 5 回以内	○	3
パンチョ T F 顆粒水和剤	2,000 倍	収穫前日まで / 2 回以内	○	U6 と 3
サンヨール	500~1,000 倍	収穫前日まで / 6 回以内	○	—
ジーファイン水和剤	750~1,000 倍	収穫前日まで / —	○	NC と M1

※その他、被覆後には硫黄粒剤のくん煙処理が可能ですが、その際は専用の電気加熱式くん煙器を利用してください。

農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

※営農 NEWS は J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。



農機営農支援部 営農支援課

電話：029-291-1012 FAX：029-291-1040